

多摩の技術宝の山

製品やサービス紹介 取引サイト開設



国分寺市を拠点にシステ

ム開発などを手がける「スプリングフィールド」(高橋正典社長)は、多摩地区の企業の製品やサービスを掲載した電子商取引サイト「多摩Techi箱(たまてくばこ)」で写真を開設した。高橋社長は「サイトを多摩の技術の発信の場にしたい」と話している。

サイト名は、「玉手箱」と「多摩のテクノロジー(技術)」をかけており、「開くと、宝の山のように優れた商品が並んでいる」との期待を込めている。登録できる企業は多摩地区限定だ。

サイトの運営や、顧客からの注文受け付け、決済は同社が担当し、商品の発送や技術的な相談の受け付けは出店企業が行う。代理店などを介さず自社製品を直接顧客に販売できるので、市価よりも約2割安いとい

う。

ホームページに掲載する商品は、様々な角度から写した画像を見られるため、購入者が商品を具体的にイメージできるようになっている。

現在は、2社が「通信機器」など4項目に約180点を出品している。通常は50商品まで初期登録料2万6250円(税込み)だが、オープン記念として、6月末までは初期登録料を10商品まで1万5000円(税込)に割り引いている。

高橋社長は「多摩地区には、独創性の高い製品が埋もれている」と考え、サイトの開設を思いついた。2008年秋のリーマンショック以降、売上げや収益の減少に悩む製造業者を支援したいとの思いもあった。昨夏から準備を始め、今年2月にオープンした。

今後は、製造業者を対象に特許など知的財産について、弁理士による助言を受けられるようなサービスも紹介するという。

アドレス <http://www.tamatechbako.jp/>。出店などの問い合わせはスプリングフィールド(☎042・3320・5601)。